

中・四国アメリカ文学会第 53 回大会プログラム

期 日 2025 年 6 月 14 日 (土)・15 日 (日)
会 場 セントコア山口 2 階 サファイア
〒753-0056 山口県山口市湯田温泉 3 丁目 2-7

第 1 日 6 月 14 日 (土)

受 付 (12:50 ～ 13:30)
開 会 式 (13:30 ～ 13:40) 開会の辞 会 長 大 地 真 介 (広島大学)
研 究 発 表 (13:40 ～ 14:20) 司会 戸 田 慧 (広島女学院大学)
1. ヘミングウェイの母子関係と「兵士の故郷」 発表 秀 島 由里子 (広島大学 (院))
(13:40 ～ 14:20)

(休憩 20 分)

特 別 講 演 1 (14:40 ～ 15:40)
講師 古 村 敏 明 (明治学院大学)
演題 Covid-19 パンデミックとは何だったのか?——現代アメリカ詩から考える集合的記憶
司会 谷 岡 知 美 (広島工業大学)

(休憩 20 分)

特 別 講 演 2 (16:00 ～ 17:00)
講師 Jay Watson (The University of Mississippi)
演題 William Faulkner's *Go Down, Moses* and Environmental Lost Cause-ism
司会 大 地 真 介 (広島大学)

懇 親 会 (17:30 ～ 19:30)
会場 セントコア山口 鳳 翔 (3 階)
司会 藤 本 幸 伸 (山口大学)
会費 8,000 円

第 2 日 6 月 15 日 (日)

シンポジウム (9:30 ～ 12:30)
戦争表象を再読する 司会 的 場 いづみ (広島大学)
1. 見えない兵団——Louisa May Alcott 作品での傷病兵／傷痕軍人表象 発題 本 岡 亜沙子 (広島経済大学)
2. 戦時動員におけるジェンダー規範と妊娠への不安——ヘミングウェイとポーターを比較して 発題 菅 井 大 地 (愛知学院大学)
3. 〈謎解き〉と「封印」されてきた広島の記憶
——ナオミ・ヒラハラのミステリ小説から解き明かす「軍都」のモチーフ 発題 松 永 京 子 (広島大学)
4. デイン・Q・レによるヴェトナム戦争映画の書き換え 発題 的 場 いづみ

総 会 (12:30 ～ 12:50) 議 長 会 長 大 地 真 介
閉 会 式 (12:50 ～ 13:00) 閉会の辞 副会長 城 戸 光 世 (広島大学)

【お知らせ】

- 「会報 64 号」は発表レジュメとなっております。当日ご持参ください。
- 懇親会、役員会へのご出欠については、Google Form での入力、または同封のハガキを 5 月 20 日 (火) までにご投函ください。
- 2025 年度会費納入 (本部会費 5,000 円、支部会費 4,000 円 [学生会員 3,000 円]) は同封の振替用紙にてよろしくお願い申し上げます。
- 日本アメリカ文学会の今年度の全国大会は松山大学にて、2025 年 9 月 27 日 (土) 28 日 (日) に開催予定です。
- 冬季大会は 2025 年 12 月 6 日 (土) に広島市内の会場で開催予定です。発表ご希望の方は、8 月 1 日 (金) までに、E メールで事務局 (shiotah@shudo-u.ac.jp) にお申し込みください。発表題目は 10 月 20 日 (月) までに届け出てください。